

中国におけるプロジェクションテレビ用を中心とした 電子銃部品製造・販売会社の設立について

当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:大木和雄)の子会社である富士電子工業株式会社(本社:茨城県北茨城市、社長:北中賢二、当社出資比率:91.93%、以下「富士電子」という)は、本年10月、中国広東省東莞(トゥガン)市にプロジェクションテレビ(以下「PRT」)用を中心とした電子銃部品の製造・販売を行う現地法人「東莞富士電子有限公司」を設立することといたしました。

当該電子銃部品は、近年中国への輸出が増加するとともに、中国に拠点を置く主要顧客から部品の現地生産要請が強まってきております。

富士電子は、こうした状況に迅速かつ的確に対応し、同部品製造に関する中国での事業基盤を強化するため、新会社を設立することとしたものであります。

新会社の概要は次のとおりです。

- 社名:東莞富士電子有限公司
- 所在地:中華人民共和国広東省東莞市
- 董事長:北中 賢二(非常勤)
- 総経理:坂上 信三(常勤)
- 資本金:2.25億円(富士電子が100%出資)
- 設立時期:2002年10月
- 従業員数:約70名
- 事業内容:PRT用を中心とした電子銃部品の製造・販売
- 生産開始時期:2003年5月(予定)

当社グループのテレビおよびパソコンモニター用電子銃部品製造については、富士電子をはじめ、宇進精密工業(株)(韓国)、ニッポン・プレジジョン・テクノロジー(マレーシア)が既に操業を行っておりますが、今般、これらに加えて中国に新会社を立ち上げることにより、東アジアにおける電子銃部品製造事業を従来に増して機動的に展開していくことができるものと考えております。

参考資料:  [富士電子工業株式会社の概要、東莞富士電子の立地](#) (PDF:249KB)